

独占!母娘
インタビュー

藤原紀香今年、赤ちゃん産みたかったです

女性自身

鈴木園子公開
ヨン様・ヒョンホン
私的写真アルバム

3月6日号
定価 320円 光文社

【ドモホルンリンクル】樋口京子さん宛「ポケットチカ」のママチ棒少女etc.

話題CM **気になるあの人は誰!?** 韓流スター死に懸 **ネチズン**の陰湿

木村拓哉 **華麗なる打ち上げ** ● 篠原こまめ **寝美の品格キープ術**

谷原章介 **結婚危機** **3月入籍披露宴** **連れの入園** **奔走中!**

東国原 **家族で公舎に** **元妻復縁** ● 山本モナ **二股修羅場** **母絶句**

宮内庁 **美智子** **涙した皇室侮蔑本**
抗議も雅子 **はガヤの外**

プリンセス・マサコ 日本版中止



ウエツ瑛士 **驚キユンな眼差し**



紀香憧れの十二単

日能研特別講座
合格できる
熟選び

骨髄体操 寺門琢己先生が新考案ノ免役力もUP!

1日1分

即効美乳体操

月9女優ふるるん 齊芸能人御用達、ハーツエステ潜入

春まで色香UP!

ほしのあき **バストアップ**

浅野八郎先生が見つけた2億円への金法則

手相でわ **宝くじ** 買い方

【東京・名古屋・関西】スイーツもエステも楽しめる

進化す駅ナカ

お肌スパスパ! 手作り野菜おやつ

お手ごろ **マグロ** 美味しく

秋吉久美子 夏木マリ **50代** 艶 & 恋力

『プリンセス・マサコ』日本版中止

書簡に妃殿下への言及は皆無…著者は本誌に反論メールを



美智子⁷²さまが涙した 『皇室侮蔑』本



宮内庁「抗議」も



“雅子さまは ガヤの外”

「今回、宮内庁が外務省を通じて抗議をしたことは当然の対応だったと思いますね。本

の内容は事実誤認が多く、天皇皇后両陛下をはじめ皇族方にたいしても実に非礼極まり

海外で出版され、日本でも話題になっていた書籍が邦訳出版されることに対して、宮内庁が出した書簡に見られる「不可解な事実。雅子さまのお気持ちはいかに

ないものと言っている。日本語版の出版が取り止めにされたのも当然の結果です」(元宮内記者で皇室ジャーナリストの橋生雅亮さん)
去年11月、オーストラリアで出版された「プリンセス・マサコ——菊の玉座の囚人」の邦訳本が、講談社から3月下旬の発売を目前にして急遽、発売中止となった。なぜ発売中止に追い込まれ



精華楽堂へ入られる皇太子ご夫妻。心ない報道にさらされた、そのお気持ちはいかばかりだろうか

たのか。その経緯を説明する前に、原著がどのようなものなのかを紹介しておこう。著者はオーストラリア在住のジャーナリスト、ベン・ヒルズ氏で、本書を執筆するにあたり雅子さまを知る関係者60人以上に取材をしたという。そして、適応障害に苦しむ雅子さまを「キャリアを犠牲にした悲劇の女性」として描き、その原因を宮内庁という旧態依然とした組織と、皇室の体質にあると言及している。しかし、内容はそれだけに止まらない。波紋を呼んだのは、愛子さまのご誕生が、体外受精によってなされたものであったという箇所だった。「去年、オーストラリアで出版された直後から、この本は憶測や噂をもとにしたヒドイもの」という批判があり、出版された時点で、講談社は日本語版を出す方向で準備をしましたが、さすがに外務省も皇室を侮蔑する

ような内容が邦訳されることを看過することはできなかった。オーストラリア駐在の上田大使を通じ、著者のヒルズ氏と出版元のランダム・ハウス・オーストラリア社に厳重抗議と謝罪を求め、さらにそのことを講談社にも伝えるようにと要求したんです(出版関係者) その抗議文書が送られたのは2月12日。日本国憲法で規定された「日本国民統合の

象徴」である天皇陛下をはじめ、皇室の方々や日本国民を侮蔑し、実態とかけ離れた皇室像を描いていることに、我が国政府としては、これを断じて看過することはできない。これを受けてか日本語版の出版を準備していた講談社も、「事実誤認に対して、著者の姿勢は容認できるものではない」と2月16日になって急遽、出版中止を決定したのだ。

なぜ雅子さまを擁護しないのか

だが、外務省の抗議文書にはもう一通の文書が添えられていた。それは、宮内庁の渡辺元侍従長がベン・ヒルズ氏宛てた「書簡」である。渡辺侍従長は「天皇皇后両陛下の側近にお仕えしている立場から」と断り「明らかに事実と異なる一つの箇所に絞って、問題を提起します」として、「両陛下が、四十年に

近であるところの東宮職から雅子さまや愛子さまの記述に関して具体的な抗議の意思があったかどうかを確認したところ、次のような回答を得た。それによると、「上田駐豪州大使発の書簡は、著者と出版社に対し政府全体の立場を説明し、抗議する趣旨で外務省として作成したもので……」

「たしかに渡辺侍従長は両陛下の側近であり、両陛下を諷刺中傷する記述に抗議するのはわかりますが、肝心の雅子さまの記述については、書簡のなかでは何ひとつ言及せず、抗議もしていないのです。日ごろの宮内庁の雅子さまにたいする対応が如実に表れている

と、言ってもいいでしょう。今回のことについて美智子さまは、今回の日本語版の出版中止に何を思うのだろうか。本誌のメールによる取材に、こう回答してきた。「私はいま、皇室内部で何が起きているのかを日本国民に知られたくないための、外務省と宮内庁からの圧力に講談社が屈伏したことに非常に失望しています。勇気ある別の日本の出版社が連絡をくれれば嬉しいのですが」

「私は皇室のタブーに触れた」と、著者のベン・ヒルズ氏は、今回の日本語版の出版中止に何を思うのだろうか。本誌のメールによる取材に、こう回答してきた。「私はいま、皇室内部で何が起きているのかを日本国民に知られたくないための、外務省と宮内庁からの圧力に講談社が屈伏したことに非常に失望しています。勇気ある別の日本の出版社が連絡をくれれば嬉しいのですが」

「雅子さまをめぐると、外務省の報道は、今回に限ったことではない。ご結婚から間もなく、お世継ぎ、問題や、皇室という、慣れない環境からしだいに開通さと笑顔の消えた雅子さまは、沈黙のプリンセス」と報じられたことさえある。前出の稲生さんは言う。「雅子さまを英国の故ダイアナ元妃と比較してとらえる外国メディアも多いのです。そうした外国メディアにたいし、宮内庁はどのような対応をしてきたのか疑問に思っています。外国メディアも、宮内庁に直接取材をするべきだし、宮内庁もそのための専門の窓口を作って対応していればこのようない問題は起こらなかったはずです。国際化の時代なので、正しい皇室像を伝えていこうとしなければ、今後同じようなことが繰り返されるでしょう」

「私は皇室のタブーに触れた」

さて、著者のベン・ヒルズ氏は、今回の日本語版の出版中止に何を思うのだろうか。本誌のメールによる取材に、こう回答してきた。「私はいま、皇室内部で何が起きているのかを日本国民に知られたくないための、外務省と宮内庁からの圧力に講談社が屈伏したことに非常に失望しています。勇気ある別の日本の出版社が連絡をくれれば嬉しいのですが」

「私は皇室のタブーに触れた」と、著者のベン・ヒルズ氏は、今回の日本語版の出版中止に何を思うのだろうか。本誌のメールによる取材に、こう回答してきた。「私はいま、皇室内部で何が起きているのかを日本国民に知られたくないための、外務省と宮内庁からの圧力に講談社が屈伏したことに非常に失望しています。勇気ある別の日本の出版社が連絡をくれれば嬉しいのですが」

「雅子さまをめぐると、外務省の報道は、今回に限ったことではない。ご結婚から間もなく、お世継ぎ、問題や、皇室という、慣れない環境からしだいに開通さと笑顔の消えた雅子さまは、沈黙のプリンセス」と報じられたことさえある。前出の稲生さんは言う。「雅子さまを英国の故ダイアナ元妃と比較してとらえる外国メディアも多いのです。そうした外国メディアにたいし、宮内庁はどのような対応をしてきたのか疑問に思っています。外国メディアも、宮内庁に直接取材をするべきだし、宮内庁もそのための専門の窓口を作って対応していればこのようない問題は起こらなかったはずです。国際化の時代なので、正しい皇室像を伝えていこうとしなければ、今後同じようなことが繰り返されるでしょう」

about your life ●生活実用

- スーパージョー
- 「言葉はキュークツ」
- 「ほんとうの幸せを見つける方法」
- 「ハードナッツ」
- 「麗しの日々」
- 「神前結婚式」
- 「睡眠、食事、ダンナ様」
- 「50代女優10人の「艶・美・恋」

女性自身 2295号

2007年3月6日号

regulars ●好評連載

- 「言葉はキュークツ」 111
- 「ほんとうの幸せを見つける方法」 83
- 「ハードナッツ」 117
- 「麗しの日々」 85
- 「神前結婚式」 71
- 「睡眠、食事、ダンナ様」 73
- 「50代女優10人の「艶・美・恋」 178

news gravure ●今週のトピックス

- 「神前結婚式」
- 「睡眠、食事、ダンナ様」
- 「50代女優10人の「艶・美・恋」

scoop&news ●スクープ・ニュース

- 「赤西「CM撮影で一時期帰国、メンバーと再会の噂」
- 「宮本邦彦「母が語る殉職の語り」と、悲しみ」
- 「山本モナ「テレビで「股の修羅場」告白に母絶句」
- 「細木教子「現職女王」を巡る「最新相関図」東国原英夫「家族4人で宮内庁の公舎」と、復讐メール」
- 「女性潮流STARを死に追い込んだ「ネチズン」の陰謀」
- 「ほしのあき「芸能人が通う「パッツエステ」をW体験」
- 「スペイン発「フランス発」春の「ユーロ・美小顔エステ」
- 「宮内庁「皇太子ご夫妻」「癒される人」に嫁ぐ娘へ」
- 「赤西「CM撮影で一時期帰国、メンバーと再会の噂」
- 「宮本邦彦「母が語る殉職の語り」と、悲しみ」
- 「山本モナ「テレビで「股の修羅場」告白に母絶句」
- 「細木教子「現職女王」を巡る「最新相関図」東国原英夫「家族4人で宮内庁の公舎」と、復讐メール」
- 「女性潮流STARを死に追い込んだ「ネチズン」の陰謀」
- 「ほしのあき「芸能人が通う「パッツエステ」をW体験」
- 「スペイン発「フランス発」春の「ユーロ・美小顔エステ」
- 「宮内庁「皇太子ご夫妻」「癒される人」に嫁ぐ娘へ」